

# 渡島・檜山地方の気象

平成 24 年 7 月 (2012 年)

函館海洋気象台

平成 24 年 8 月 28 日

## ◎ 気象概況

この期間の天気は、前半は数日の周期で変化したが、後半は高気圧の張り出しの中となり晴れる日が多かった。

平均気温は平年並～平年より高く、降水量は平年並～平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

### 【上旬】

1 日は、気圧の谷の影響で、曇りで夜に雨の降った所があった。2 日は、気圧の谷の影響で、曇りで雨の降った所があった。3 日は、気圧の谷の影響で、曇りで昼前まで雨の降った所があった。4 日は、気圧の尾根に覆われ概ね晴れた。5 日は、低気圧の通過で雨が降った。6 日は、気圧の谷の影響で雨が降ったが、昼前から晴れた所があった。7 日～8 日は、気圧の尾根に覆われ概ね晴れた。9 日は、低気圧の通過で雨が降った。10 日は、高気圧に覆われ晴れた。

### 【中旬】

11 日は、低気圧の接近で曇り、夜に雨が降った。12 日は、低気圧の接近や本州付近に停滞した前線の影響で雨が降った。13 日は、低気圧の通過や本州付近に停滞した前線の影響で曇り、昼前まで雨の降った所があった。14 日は、気圧の谷の影響で曇ったが、昼過ぎから晴れた所があった。15 日は、気圧の谷の影響で太平洋側は曇ったが、日本海側では晴れた。16 日は、低気圧の通過や本州付近に停滞した前線の影響で夕方まで雨が降った。17 日～19 日は、高気圧に覆われ晴れた。20 日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 【下旬】

21 日から 22 日は、オホーツク海の冷たい高気圧に覆われ太平洋側では曇ったが、日本海側は晴れた。23 日は、気圧の谷の影響で曇った。24 日は、気圧の谷の影響で雨が降った。25 日は、気圧の谷の影響で曇って昼前まで雨が降った。26 日は、気圧の谷の影響で日本海側の一部が曇ったほかは概ね晴れた。27 日～28 日は、低気圧を含む気圧の谷の影響で曇った。29 日は、高気圧に覆われ晴れた。30 日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。31 日は、気圧の谷の影響で曇った。

**気 温** : 各地点の月平均気温は 18.8 ～ 20.7 °C で、平年差は +0.3 ～ +1.1 °C。

函館市川汲・北斗・函館市美原・せたな町瀬棚では平年より高く、そのほかの観測地点では平年並だった。

**降水量**：各地点の月降水量は32.5～134.0 mmで、平年比は24～79 %。

長万部・奥尻町稲穂では平年並で、そのほかの観測点では平年より少なかった。特に、函館市川汲・北斗・乙部町潮見は、平年よりかなり少なかった。

**日照時間**：各地点の月間日照時間は133.8～189.5時間で、平年比は110～146 %。

すべての観測点で平年より多かった。特に長万部・今金では平年よりかなり多かった。

◎ **気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値**

	気温（℃）		降水量		日照時間	
	月平均	平年差	月合計（mm）	平年比（%）	月合計（時間）	平年比（%）
函 館	20.7	+1.0	55.0	42	149.6	110
江 差	20.7	+0.6	77.5	59	167.9	119

（平年比・差は1981年から2010年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。）

◎ **気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表**

なし

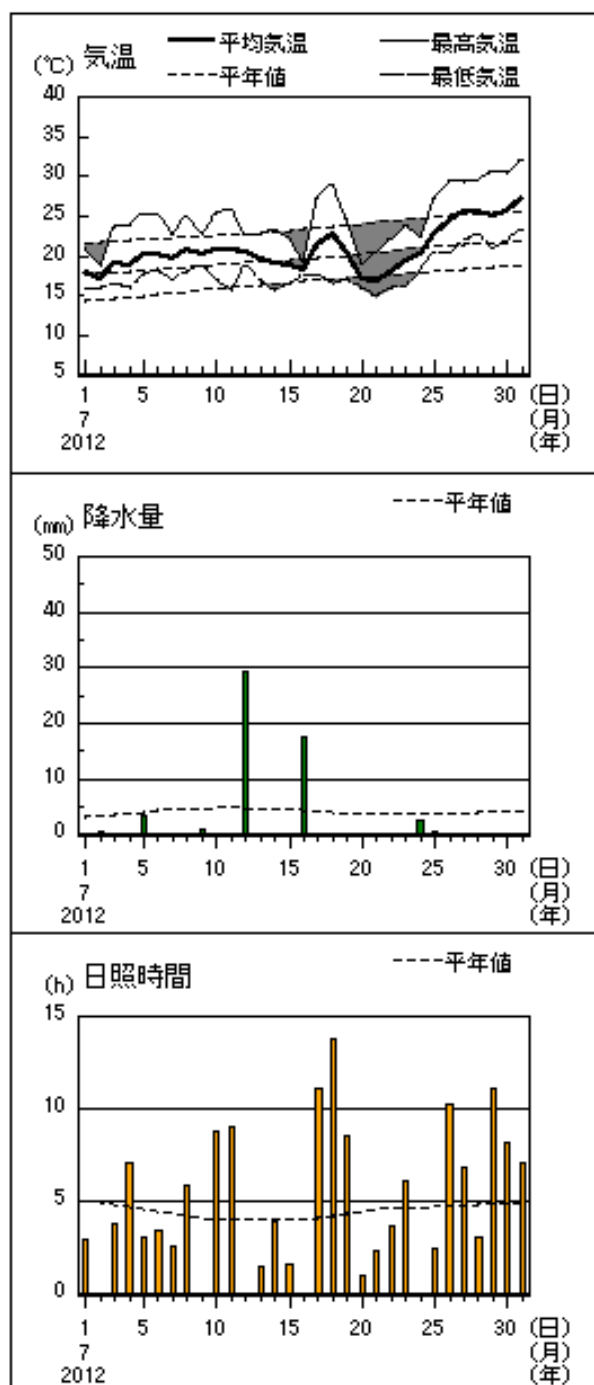
◎ **異常気象および気象災害発生状況**

なし

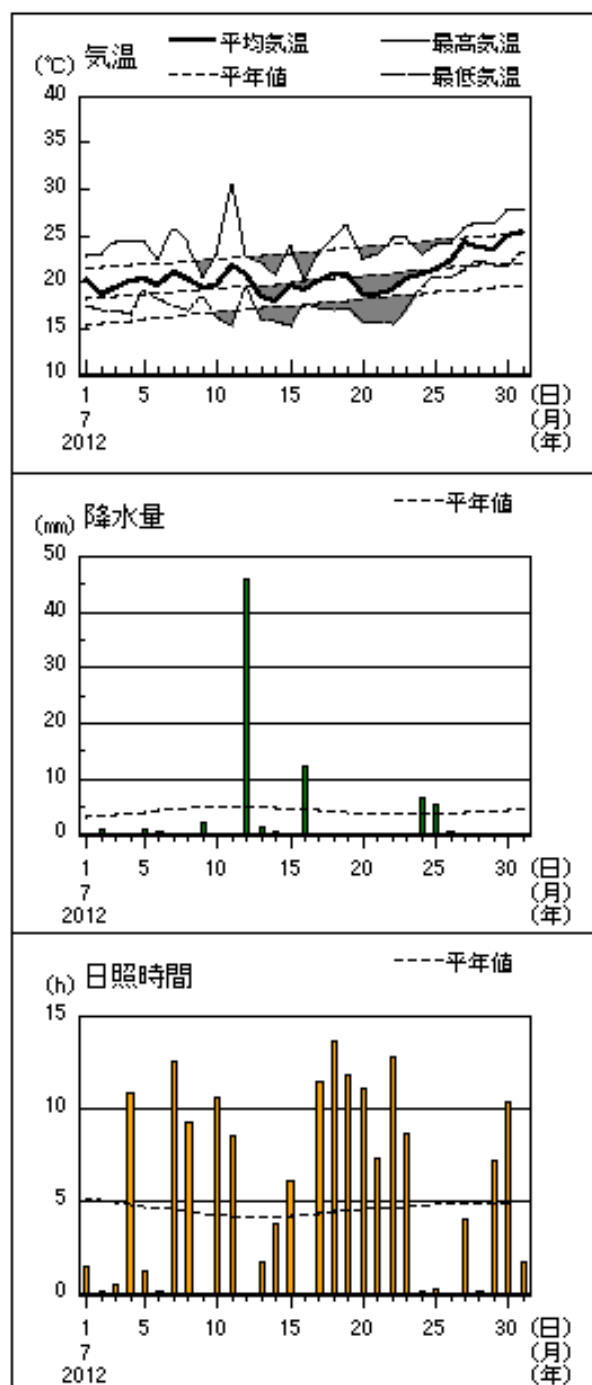
◎ 气象経過図（7月）

地上気象：2012年7月1日-2012年7月31日

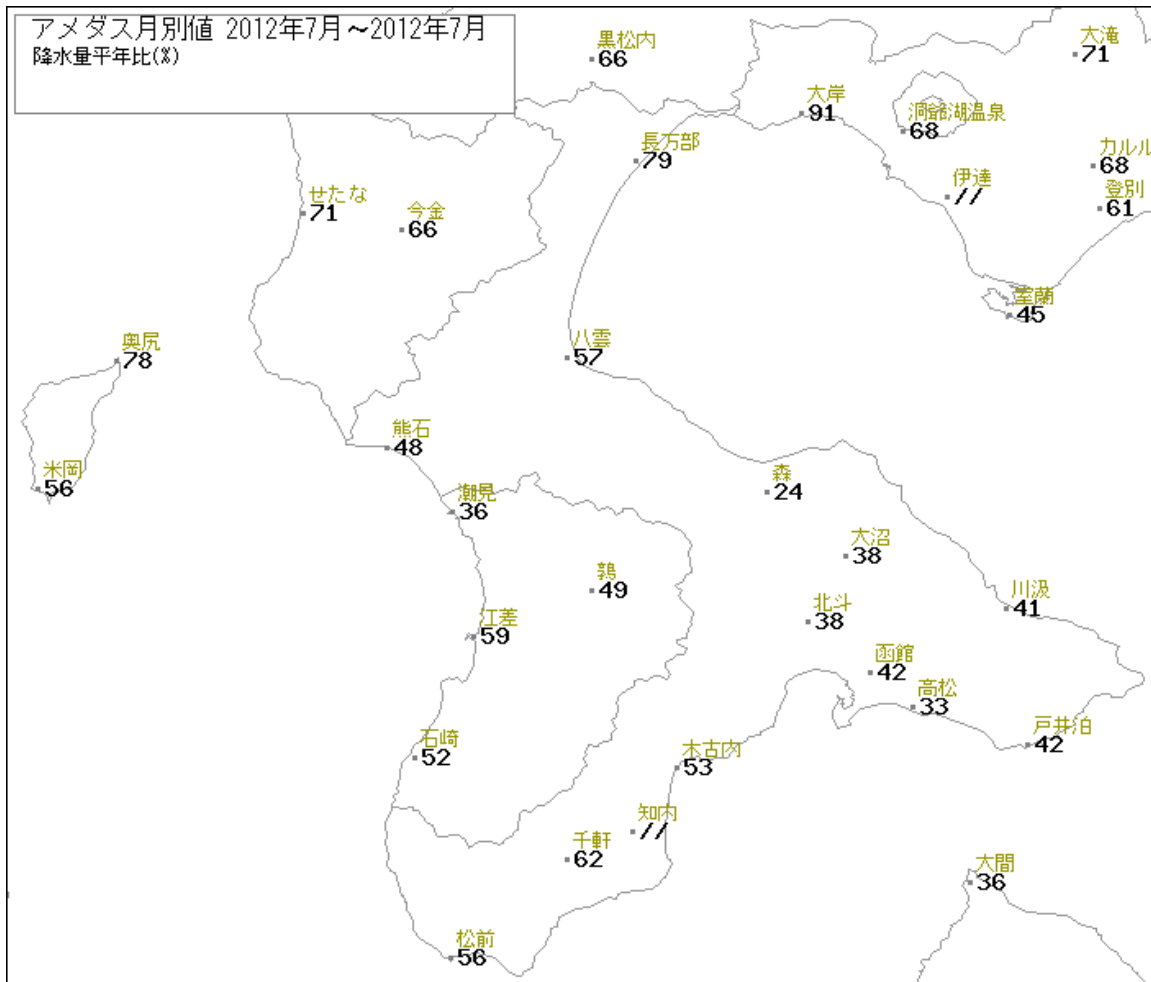
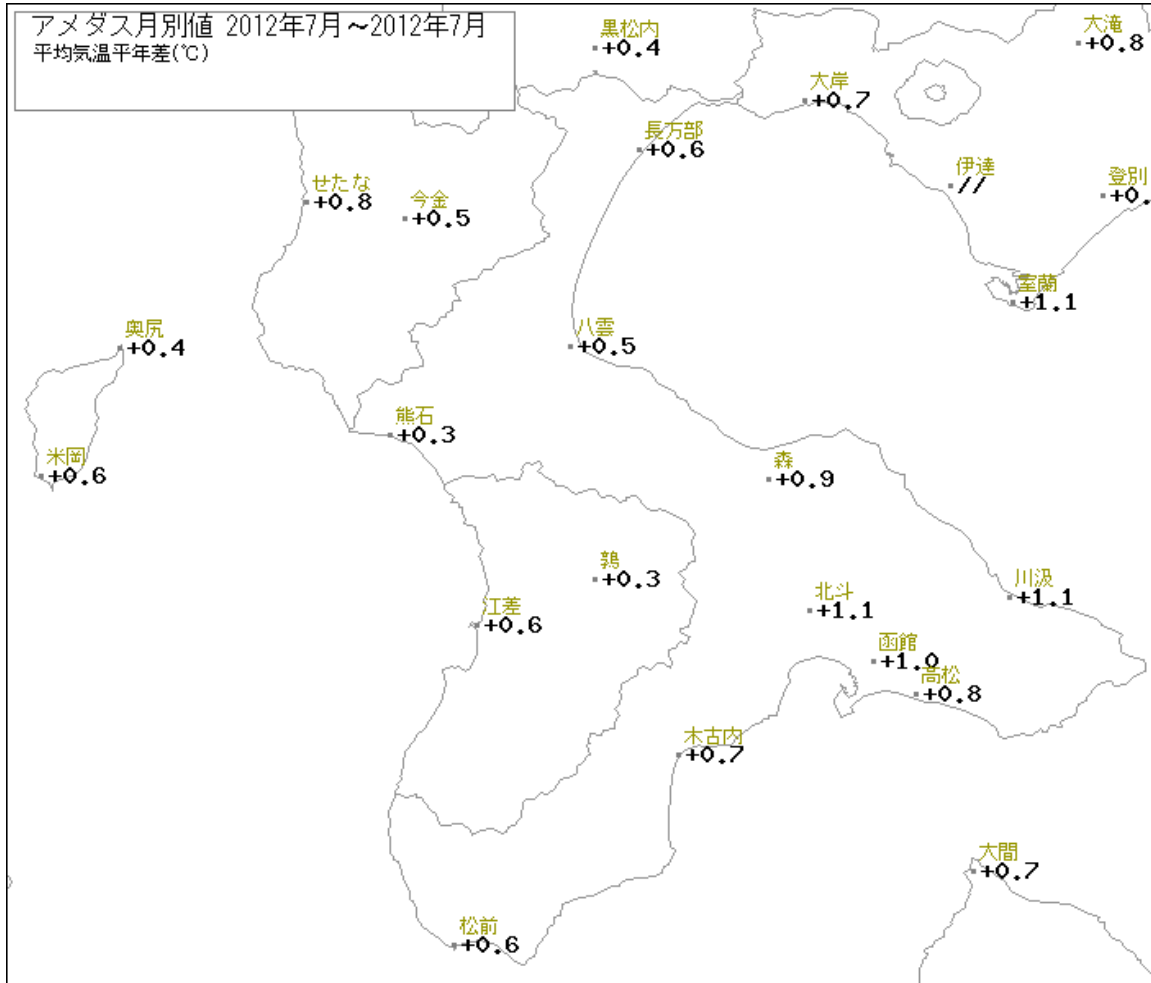
函館



江差



◎ 気象分布図（7月）



アメダス月別値 2012年7月～2012年7月  
日照時間平年比(%)

